

平成 25 年 11 月 12 日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

**「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」の「年2回決算型」
2013年11月11日決算の分配金について**

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社が運用しております「野村エマージング債券投信(通貨・代替通貨選択型)」(以下、「当ファンド」といいます。)につきまして、「年2回決算型」の各コースにおける2013年11月11日決算の分配金を下記の通りご案内申し上げます。

今後ともお引き立てを賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

<年2回決算型>

■ 第8期分配金 (1万口当たり、税引前)

	円コース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース
分配額	10円	10円	10円	10円

■ 第5期分配金 (1万口当たり、税引前)

	カナダドルコース	メキシコペソコース	トルコリラコース	金コース
分配額	10円	10円	10円	0円

* 金コースにおいては基準価額の水準を勘案し、分配を見送ることいたしました。

※ 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※ 分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※ 詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」の「分配方針」をお読みください。

■ 2013年5月～2013年10月の運用経過

2013年5月～2013年10月のエマージング債券市場は下落しました(米ドルベース、以下同じ)。5月にバーナンキFRB(米連邦準備制度理事会)議長が米国のQE3(第3次量的金融緩和策)の縮小の可能性に言及して以降、流動性低下への警戒から、それまでエマージング市場に流入していた投資資金が大幅に流出しました。ただし、9月にはQE3の縮小が見送られたことなどから市場は反発し、財政関連法案をめぐる米国議会で対立と混乱が深まった10月には、QE3が当面は維持されるとの観測が高まり、期末にかけて下げ幅を縮小する展開となりました。

期を通じては、米ドル建てエマージング債券市場(参考指数:JPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド、以下「米ドル建て債」)の米国債に対するスプレッド(利回り格差)は拡大しました。また、ユーロ圏の景気底入れ観測に支えられたハンガリー・フォロントやポーランド・ズロティなどの一部の中東欧通貨を除き、新興国通貨が全般的に売り圧力に晒されたことから、現地通貨建てエマージング債券市場(参考指数:JPモルガンG BI-EMグローバル・ダイバーシファイド)は米ドル建て債を上回る下落率となりました。

ポートフォリオは米ドルベースでマイナスの収益率となりました。ギリシャのユーロ建て国債の組み入れがプラスに作用したものの、メキシコの現地通貨建て国債のほか、ベネズエラやインドネシアの米ドル建て国債などが主たるマイナス要因となりました。

当期の主な投資行動では、メキシコの現地通貨建て国債やコロンビアの米ドル建て国債に加え、米ドル建て、現地通貨建て双方のトルコ国債の組み入れを削減した一方で、ギリシャのユーロ建て国債を新規に組み入れたほか、スロベニアの米ドル建て国債の組入比率を高めるなどしました。その結果、国別ではメキシコやトルコの比率が低下し、一方で、ギリシャやスロベニアの組み入れ比率が上昇しました。通貨別ではメキシコペソの比率が低下し、ユーロの比率が上昇しております。

期末時点のポートフォリオにおいては、国別では、メキシコやロシア、ベネズエラ、インドネシア、ブラジルなどが組入上位国となりました。米ドル以外の通貨では、ユーロのほか、メキシコペソやロシアルーブル、南アフリカランド、フィリピンペソなどの比率が比較的高めとなっております。

夏場の大幅な資金流出により、エマージング市場は構造的な脆弱さを露呈し、今後も長期に亘って改革に取り組まなければならない問題の存在が明らかになりました。しかし、通貨安や金利上昇などの難局に対し、多くの新興国政府が旧来型のその場しのぎの防衛策に踏み込まなかったことについては前向きに評価しています。ポートフォリオでは、政府による改革努力が続けられ、経済の構造変化を遂げる公算が高いメキシコなど良好なファンダメンタルズを有する国を選好しています。一方、現地通貨のリスクを取りにくいなかで相対的にリスク対比の投資妙味が高い米ドル建て債として選好して来た社債ですが、収益力に見合わない過大な外貨借入れを行っている発行体企業が目立つようになってきたことから、やや慎重な見方を強め、米ドルベースでの確固としたキャッシュフローが見込め、バリュエーション面でも魅力的な債券に投資先を選別しています。

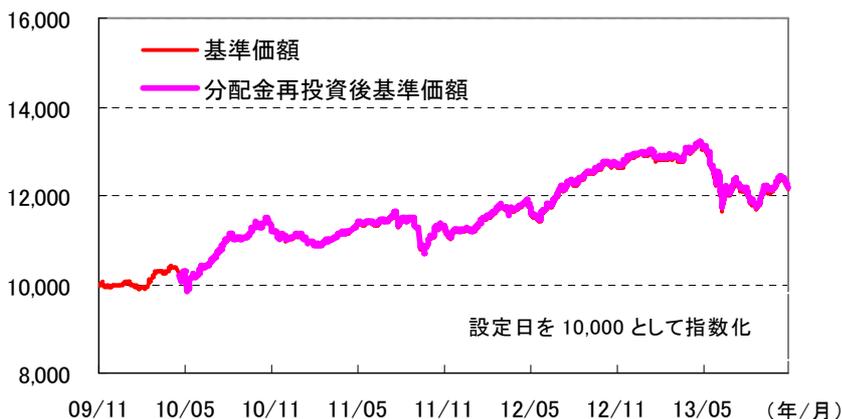
当ファンドの各コースが投資対象としている「エマージング・マーケット・デット・ファンド」(ケイマン籍外国投資信託)は2013年10月末現在でエマージング債券の組入数は196銘柄、債券の組入比率は99.3%となっております。

出所:キャピタル・ガーディアン・トラスト・カンパニー

■ 基準価額の推移 (設定日～2013年11月11日)

- ※ 「分配金再投資後基準価額」の推移は税引前分配金を全額再投資したもものとして計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。基準価額は信託報酬控除後です。
- ※ 円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコースの設定日は2009年11月17日、カナダドルコース、メキシコペソコース、トルコリラコース、金コースの設定日は2011年8月10日です。

○ 円コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
設定来		70円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	12,129円
純資産総額	10.9億円

○ 豪ドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
設定来		70円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	15,513円
純資産総額	4.4億円

○ ブラジルリアルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

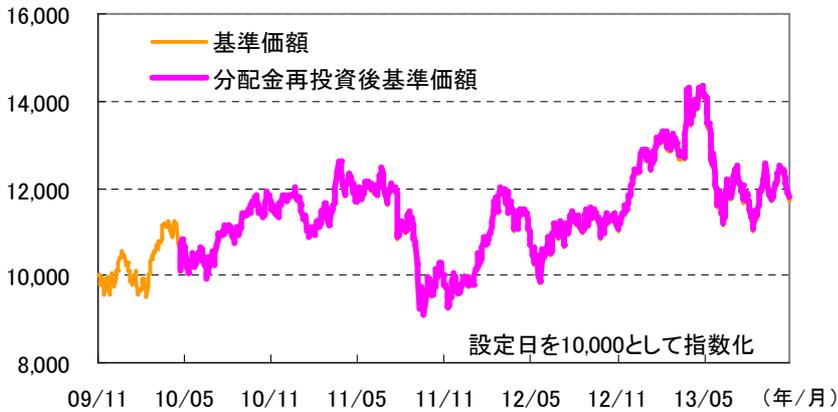
	決算日	分配金
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
設定来		70円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	12,680円
純資産総額	17.8億円

○ 南アフリカランドコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

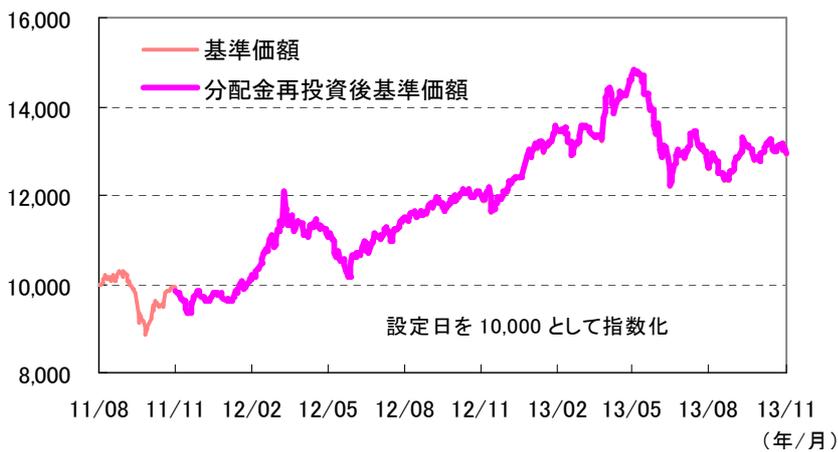
	決算日	分配金
第4期	2011/11/10	10円
第5期	2012/5/10	10円
第6期	2012/11/12	10円
第7期	2013/5/10	10円
第8期	2013/11/11	10円
設定来		70円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	11,711円
純資産総額	0.4億円

○ カナダドルコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

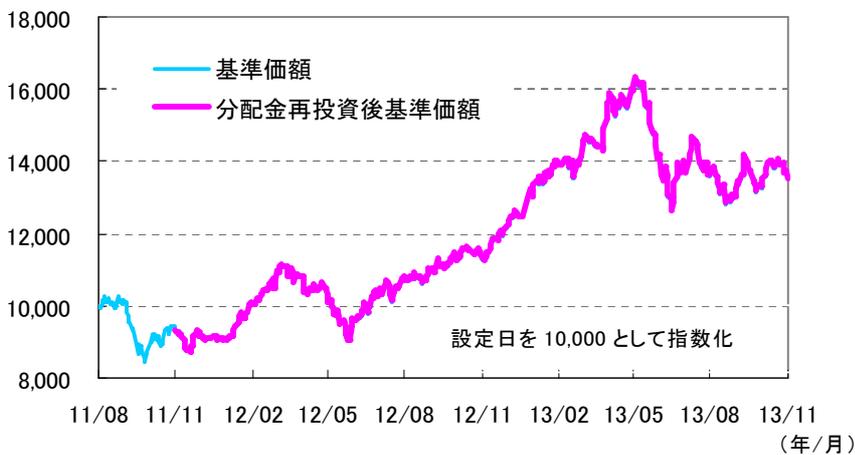
	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0円
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	10円
第5期	2013/11/11	10円
設定来		40円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	12,896円
純資産総額	1.0億円

○ メキシコペソコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

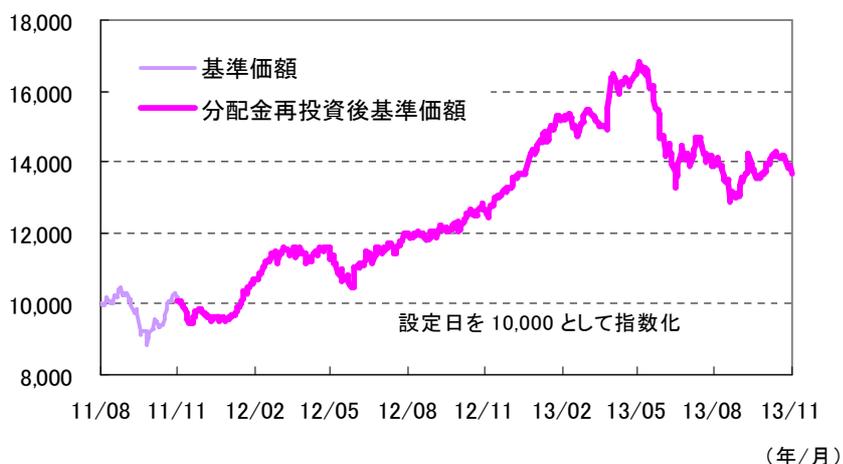
	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0円
第2期	2012/5/10	10円
第3期	2012/11/12	10円
第4期	2013/5/10	10円
第5期	2013/11/11	10円
設定来		40円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	13,502円
純資産総額	35.8億円

○ トルコリラコース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	10 円
第2期	2012/5/10	10 円
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	10 円
第5期	2013/11/11	10 円
設定来		50 円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	13,643 円
純資産総額	8.1 億円

○ 金コース(年2回決算型)



[直近5期の分配実績]

	決算日	分配金
第1期	2011/11/10	0 円
第2期	2012/5/10	0 円
第3期	2012/11/12	10 円
第4期	2013/5/10	0 円
第5期	2013/11/11	0 円
設定来		10 円

※1万口当たり、税引前

2013/11/11

基準価額	7,588 円
純資産総額	4.0 億円

■ 分配方針(年2回決算型)

毎年5月および11月の10日(該当日が休業日の場合は翌営業日とします。)に、原則として、以下の方針に基づき収益の分配を行います。

- ① 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。
- ② 収益分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。

※ ただし必ず分配を行うものではありません。

- ③ 収益分配に充てず信託財産に留保した利益については、運用の基本方針にしたがって運用を行います。

販売会社の名称等

販売会社		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※ 加入協会に○印を記載しています。

当資料は投資者にT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

当ファンドのお申込みに際してのご留意事項

以下のリスクは、投資信託説明書(交付目論見書)に記載されているリスクを要約したものです。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンドの基準価額は、投資を行っている有価証券等の値動きによる影響を受けますが、これらの運用による利益および損失は全て投資者に帰属します。したがって、ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。なお、ファンドは預貯金とは異なります。

◎ファンドの基準価額の変動要因となる主たるリスクについて

<各ファンド(マネープールファンドを除く)>

「債券価格変動リスク」「カントリーリスク」「為替変動リスク」「金価格変動リスク」

<マネープールファンド>

「債券価格変動リスク」

※ 基準価額の変動要因(リスク)は、上記に限定されるものではありません。

◎分配金に関する留意点

- ・ 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- ・ 投資者の購入価額(個別元本の状況)によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ・ 分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払後の純資産は分配金相当額が減少し、基準価額が値下がりする要因となります。

ファンドの費用

■投資者が直接的に負担する費用

◇ 購入時に負担いただく費用

購入時手数料	購入価額に対して 上限 3.15%(税抜 3.00%) (マネープールファンドの購入はスイッチングによる場合のみとします。)
--------	--

◇ スwitchング時に負担いただく費用

スイッチング時手数料	購入価額に対して 上限 1.575%(税抜 1.50%) (マネープールファンドへのスイッチングには手数料はかかりません。)
------------	--

◇ 換金(スイッチングのための換金を含む)時に負担いただく費用

信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に 0.3% の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。(マネープールファンドには信託財産留保額はかかりません。)
換金手数料	ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.924%(税抜 0.88%) 実質的にご負担いただく信託報酬率 : 年 1.674%(税抜 1.63%)程度 (信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた概算値) ●マネープールファンド : 年 0.5775%(税抜 0.55%)以内
その他の 費用・手数料	【監査報酬】毎日、各ファンドの純資産総額に下記の率を乗じて得た額 ●各ファンド(マネープールファンドを除く): 年 0.0084%(税抜 0.008%) ●マネープールファンド : 年 0.00525%(税抜 0.005%) 【その他】証券取引に伴う手数料等をファンドでご負担いただきます。これらの費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

※当該手数料等の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。